

四角すい O-ABCD は底面が正方形で、辺の長さはすべて等しいです。また、点 P,Q,R,S は各辺の真ん中の点です。この四角すいを、P,Q,C,D を通る平面、Q,R,D,A を通る平面、R,S,A,B を通る平面、S,P,B,C を通る平面で切っていくつかの立体に分けます。

(1) 点 O を含む立体の体積は、もとの四角すいの体積の

① 倍です。

(2) 体積が最も小さい立体の体積は、もとの四角すいの

体積の ② 倍です。

